

① 学会・研修会・講習会等の名称：

運動器疾患の「なぜ？」を紐解くために 必要な解剖学と運動学 ～下肢の運動機能障害に対する評価と アプローチの考え方を中心に～名古屋会場～

②日 時：2019年9月8日（日）10:00～16:00（受付9:30～）

③内 容：

【講義概要】

運動器疾患に対する理学療法では、様々な徒手療法や運動療法を組み合わせ治療していく。膝を温めて、ハムストリングスや腓腹筋をストレッチングして、大腿四頭筋セッティングを行って、股関節外転筋トレーニングした後で、歩行練習をする。変形性膝関節症の理学療法でよく見る光景である。

果たして、患者は何が良くなったのか理解しているのだろうか？また、セラピストは、なぜ、これらの運動療法が主訴の改善のために必要なのか説明できるだろうか？

運動器疾患においては、多くの症例が何らかの痛みを抱えて来院し、その痛みを取ってほしいと思ひ理学療法を受けている。我々は様々な治療行為を行っていく理由を、解剖学や運動学に基づいて説明できる必要がある。

本講義では、運動器理学療法で頻繁に遭遇する疾患や、障害を理解する上で必要となる解剖学や運動学的知識を、肉眼解剖や超音波解剖、バイオメカニクスの観点から理学療法と交えて解説します。

④ 講 師：工藤 慎太郎 先生

（森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授・理学療法士）

⑤ 会 場：名古屋国際会議場 4号館 3階 会議室 431+432

⑥ 受講費：12,500円（税込）

⑦ 定 員：60名

⑧ 申込先：[株式会社 gene ホームページ](#)よりお願い致します。

⑨ 締 切：定員になり次第締め切り

⑩ 主 催：株式会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）